





令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

学校・公民館名(鹿屋市立田崎小学校)

事業名	田崎小学校, 田崎中学校, 田崎地区民生委員・児童委員連絡協議会合同のあいさつ運動	実施時期	令和7年7月8日(火) (令和7年7月1日~8月31日)
趣旨又は目的	令和7年2月19日に開催された田崎小学校・中学校の学校運営協議会において、「田崎地区のあいさつを活性化するためにはどうすればよいか」について熟議を行った結果、「あいさつあふれる田崎のまちづくり」をより推進するため、合同であいさつ運動を行うこととした。		
参加者	田崎小学校生活委員会児童・職員・PTA役員 7人 田崎中学校生徒会役員・職員 7人 田崎地区民生委員・児童委員連絡協議会委員 5人		
活動概要	令和7年7月8日(火)7:40~8:00 田崎小児童の登校する時間帯に、正門前であいさつ運動を実施した。		
活動写真 [説明]	<p>田崎中学校作成の キャッチフレーズ「ドレミのあいさつ」 横断幕を掲げて呼びかけ。 どんときも しいぎただしく みんなにあいさつ</p>    <p>児童の登校に合わせて あいさつ運動を行う児童民生委員 の方々</p>		

令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

(垂水市・牛根小学校)

事業名	終業式での校長講話	実施時期	令和7年7月18日(金) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	<p>終業式で児童に伝えるべき内容は多岐にわたる。「自分の命は、自分で守る」などの安全指導もその一つだ。小学生に対して、それらを具体的に伝える必要がある。ただ、交通安全や水難事故、不審者対策など気を付けてほしいことが多すぎる上、毎回同じ内容となりインパクトが足りない。時間も長くなりがちだ。</p> <p>そこで、本校長は「未来の自分からの手紙」という講話を行った。「あの時、勇気を出してチャレンジしてくれてありがとう」「あの時、勉強をがんばってくれてありがとう」「あの時、正しい判断をして命を守ってくれてありがとう」と、大きいイラストを見せながら話した。最後に、「どうすれば未来のあなたは『ありがとう』と言ってくれるか考えながら過ごしましょう」と、児童に投げかけ、考えさせるように話を終えた。</p> <p>未来の自分からの手紙という設定は、大人から「こうしなさい」と児童に押しつけることなく、「何年後の自分は、どんなことを望むだろう」と素直に想像することができる。また、この夏の自分の行動を自分で正しく戒めることにつながる効果を生む。</p>		
参加者	児童10名 職員10名		
活動概要	・終業式で、「未来のじぶんからありがとうと言われるようにいきなさい」という趣旨の講話を行った。		
活動写真 [説明]			



令和7年度 夏の「郷土<sup>ふるさと</sup>に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 曾於市 )

事業名	曾於市青少年リーダー研修	実施時期	(令和7年7月～8月)
趣旨又は目的	子どもたちが年間を通した研修活動の中で、規律ある集団活動の実践や体験及び異年齢間の相互学習をし、自然・産業・文化等の視野を広げながら、青少年の自立精神を養い、たくましく生きる力と思いやりの心をもった青少年リーダーを育成することを目的に活動を実施する。		
参加者	市内の小中学生:13名		
活動概要	<p>○R6.7.19～20:事前研修(1泊2日) 青島青少年自然の家 オリエンテーション、KYT講習、野外炊飯、その他体験活動</p> <p>○R7.8.17～19:屋久島本研修(2泊3日) タイドプール観察、縄文杉登山、千尋の滝観察</p> <p>○R7.8.23:事後研修 研修報告書・メッセージの作成、その他体験活動</p>		
活動写真 [説明]	 <p>【縄文杉での記念撮影】</p>		

令和7年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

学校名( 志布志市立野神小学校 )

<p>事業名</p>	<p>田原川生き物観察会 ～ 校区ふれあい協議会主催 「サタデー広場」より ～</p>	<p>実施時期</p>	<p>8月3日</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然に興味・関心をもち、指標生物等を通して、主体的に環境保全に努めようとする心情を育成する。</li> <li>・様々な生き物と触れ合い、生命を大切にしようとする心情を育成する。また、継続して観察することで、理科・生活科の学びと関連させ、生命の「不思議」に迫ろうとする思考を育成する。</li> <li>・地域住民や異学年とふれ合うことで、交流の輪を広げる。</li> </ul>		
<p>参加者</p>	<p>野神校区ふれあい協議会 ふるさとづくり委員 野神小学校 児童 保護者 教職員</p>		
<p>活動概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校近くの川で、水生生物を調べる。確保した水生生物を専門家が仕分けし、名前を教えたり、きれいな水に住む生き物かどうかを教えたりする。</li> <li>○ 川の水の透明度を、装置を使って示す。現在、地域を流れる川が、どれだけ清らかか、実際に見ながら、数値をもって実感する。</li> <li>○ 確保した生き物の特徴について説明を聞いたり、生き物についての質問をしたり、確保して終わりではなく、学びを深める活動に繋げる。</li> <li>○ 確保した生き物を川に戻すことにより、命の尊さと環境保全について学ぶ。</li> <li>○ 個人によっては、確保した生き物を家庭で大切に育て、観察記録(理科作品)の作成に役立てる。</li> </ul>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<p>山，川，鳥，魚，虫・・・校区には贅沢な自然がいっぱい。しかし、これから先は、それが当たり前とは限りません。環境に興味・関心をもち、環境について学び、環境を守る、あるいはより良く発展・共存する、そういった未来を担う若人が必要です。</p> <p>写真は、大自然と大人に見守られ、生き物観察会に臨む小学生の様子です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 大崎町 )

<p>事業名</p>	<p>東川町・大崎町青少年交流事業</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和7年8月19日～23日 (令和7年7月1日～8月31日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>北海道東川町を訪れて、自然体験や社会・生活体験などを通して、異文化、異気候、異生活様式などを学び、広い視野で学校や地域のリーダーとして積極的に活躍できる人材を育成する。</p>		
<p>参加者</p>	<p>小学生5年生2名、6年生7名 合計10名</p>		
<p>活動概要</p>	<p>8月19日(火曜日)から8月23日(土曜日)の4泊5日の日程で、北海道東川町を拠点として実施しました。 東川町内施設見学(せんとぴゅあⅠ・Ⅱ、展望閣、東川小学校、そらいろ)、写真少年団との写真文化体験による交流、日本語学校留学生との交流、旭岳登山、美瑛町見学(青い池、色彩の丘)、旭山動物園見学等種々の活動を班行動を基本として行いました。1日の終わりには班ごとに振り返りの時間を設け、感じたことの共有や行動の反省等を行いました。 前半の2泊はホームステイ、後半の2泊は東川町の暮らし体験館で宿泊を行いました。ホームステイ先には同年代の児童がおり、それぞれの家庭で交流を深められたようで、最終日の出発時には、ホームステイ先の家族が見送りにきて、別れを惜しんでいる姿が印象的でした。 活動を通して、大崎町と東川町の違いや、北海道の文化や気候等の体感、交流等、貴重な経験を積み、児童の今後の成長に大きく寄与したと思います。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>写真少年団との交流</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>BBQ交流(ホームステイ家族と)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>旭岳登山(天候不良のため8合目まで)</p> </div> </div>		

令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 東串良町 )

<p>事業名</p>	<p>夏休み交流会</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和7年8月24日 (令和7年7月1日～8月31日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>子ども会内の交流や他子ども会との交流を通して、会員相互の親睦を深めるとともに、夏にしかできない思い出を共有することで、子どもの成長の機会を確保することを目的とする。</p>		
<p>参加者</p>	<p>安留子ども会 会員 32名 上山野子ども会 会員 4名</p>		
<p>活動概要</p>	<p>(1)家族紹介(2)水遊び(3)バーベキュー(4)花火 幼児と中学生の交流や、中学3年生の保護者と未就学児の保護者同士の交流等、幅広い層の交流の場となり、参加者からさらなる機会の設定を望む声があがった。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="text-align: center;">  <p>【水遊びを楽しむ様子】</p>  <p>【バーベキューの様子】</p> </div>		

令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 東串良町 )

事業名	島根県江津市との子ども交流事業	実施時期	令和7年8月20日～22日
趣旨又は目的	東串良町と自治体間連携協定を結ぶ島根県江津市との交流活動を通して、コミュニケーション能力の伸長やプレゼンテーション技術の獲得を図りながら、東串良町の魅力を再発見する機会とする。		
参加者	江津市:小学生13名、中学生2名、教育長、江津市担当者4名 東串良町:小学生13名、中学生4名、町長、副町長、教育長、東串良町担当者 10名		
活動概要	<p>(1) バーベキューを通じた交流</p> <p>交流初日。東串良町に到着した江津市の子どもたちを迎え、バーベキューをしながら互いの自己紹介や東串良町の特産について紹介した。また、ご臨席いただいた市町それぞれの教育長は、本事業に参加した子どもたちに対する期待の言葉を述べられ、子どもたちも真剣な表情でそれを聞いていた。</p> <p>(2) プレゼン大会</p> <p>5班に分かれて、江津市の子どもたちが自分の市の魅力についてまとめたプレゼンテーション資料の発表を聞いた。パワーポイント資料には、「石見神楽」「石州赤瓦」「江の川」「石見焼」「星高山」「桑茶」「オオヨシノボリ」等、江津市の観光名所や伝統芸能についての説明や写真が丁寧に配置され、これまでの学習の様子が伝わるものとなっていた。発表した子どもたちは、皆、自分の資料に自信をもっている様子で、会場からの質問にも堂々とした受け答えをしていた。また、発表者でない時間には、発表されたプレゼン内容について、メモを取りながら自分の考えを整理しており、一様に真剣で知的な時間が流れていた。会の終わりには、金久教育長からお言葉をいただいた。「良いところを見つけるために目を使い、相手を褒めるために口を使う」という言葉で、プレゼンを発表した子どもたち、発表を真剣に聞いた子どもたちをねぎらってくださった。</p> <p>(3) ワークショップ</p> <p>プレゼン大会で同じ班になった友達とグループを組み、レクリエーションを通してさらに交流を深めた。江津市社会教育指導主事の進行の元、様々なレクリエーションに取り組んだ。</p> <p>「カレーじゃんけん」は、各グループの代表者5人が指導者にじゃんけんを挑み、勝ちかあいこなら、カレーの材料の書かれたカードを獲得できるゲームである。獲得したカードを元に、自分の好みの食材を話したり、グループでどんなカレーが出来上がるか相談したりして盛り上がった。</p> <p>「ピンポンカップイン」は、机の両端に向かい合うように並び、相手の前にある6つの紙コップにピンポン玉を入れるゲームである。跳ねる軌道や紙コップの配置について、作戦を立てたり、互いのプレイを褒めたりしながら、盛り上がる姿があった。</p> <p>(4) 炊飯活動:</p> <p>「安全に」「なかよく」「おいしい」カレーライスをつくることを目的に、炊飯活動を実施した。料理経験のない児童生徒もいたが、グループ内で役割分担をしたり、アドバイスをしたりしながら、どのグループも全員で目的達成に向けて一丸となって取り組む姿が見られた。カレーライスが完成すると、一様に自分たちのカレーを自慢気に紹介していた。また、食事の際には、自分たちのカレーライスを頬張りながら、感想を交流したり、夏休みの思い出を語り合ったりする子たちもいて、終始楽しそうであった。</p> <p>参加した17名の小中学生は、「江津市に行って、実際の町の様子を見てみたい」「東串良町の良さも知ってほしくなった」と活動を振り返った。別れ際に、「また来年会おうね。」と約束を交わす子どもたちもおり、交流事業が意義深いものになったことを実感した。</p>		

写真1「交流会1:バーベキューを通じた交流の様子」



写真2「プレゼン大会の様子」



活動写真

[説明]

写真3「ワークショップの様子(カレーじゃんけん)」



写真4「ワークショップの様子(ピンポンカップイン)」



写真5「炊飯活動の様子」



写真6「カレーライスを食べている様子」



令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 東串良町 )

<p>事業名</p>	<p>新町子ども会 しんまち「つながる」縁日</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和7年8月23日 (令和7年7月1日～8月31日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>(1)子どもの自主性、創造性、協力性、達成感を育むこと (2)子どもと地域との交流を深めること (3)子ども同士で仲良く遊び成長できる機会を与えること</p>		
<p>参加者</p>	<p>新町子ども会 幼児 1名 小学生 16名 育成会 16名</p>		
<p>活動概要</p>	<p>(1)輪投げ(2)ヨーヨー釣り(3)おかし釣り(4)射的(5)バーベキュー(6)かき氷(7)スイカわり</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【射的の様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【お菓子釣りの様子】</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>【輪投げの様子】</p> </div>		



【スイカ割の様子】



【ヨーヨー釣りの様子】




【かき氷の様子】



【会場全体の様子】

令和7年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 東串良町 )

<p>事業名</p>	<p>とうじん笑顔溢れる縁日</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和7年8月17日 (令和7年7月1日～8月31日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>子どもの自主性、創造性、協力性、達成感を育むこと、子どもと地域との交流を深め、子どもと地域との交流を深め、子ども同士で仲良く遊び成長できる機会を与えることを目的とする。</p>		
<p>参加者</p>	<p>唐仁親子会 会員 大人6人 子ども8人</p>		
<p>活動概要</p>	<p>(1)流しそうめん (2)ヨーヨー釣り (3)おかしづくり (4)花火 (5)バーベキュー (6)かき氷 (7)くじ引き</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	 <p>【流しそうめんを楽しむ様子】</p>		

令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 錦江町 )

<p>事業名</p>	<p>トワイライト2025「富士登山」</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和7年7月29日～8月1日 (令和7年7月1日～8月31日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>県内外の異なった自然・文化に触れながら、集団活動の体験や異年齢間の相互学習を通して、たくましく生きる力と思いやりの心を持った青少年のリーダーの育成を図る。今回は、日本一の山である『富士登山』の体験を中心とし、様々な活動プログラムを体験することにより、チャレンジ精神や、仲間と協力する心を培う。</p>		
<p>参加者</p>	<p>小学生 3人、中学生 23人、引率者 7人</p>		
<p>活動概要</p>	<p>富士登山、山小屋体験、富士急ハイランド体験等</p> <p>登山1日目は、標高約2,300mにある富士スバルライン五合目から、標高約3,200mにある山小屋を目指して登山を開始しました。登山ガイドの案内の元、険しい山道を一步一步進み約6時間かけて山小屋に到着しました。</p> <p>翌日は、朝4時に起床し、山小屋からのご来光を見ました。視界を遮るもののないご来光は、その迫力と美しさから言葉では伝えきれない感銘を受けました。</p> <p>ご来光を見た後、山頂に向けて登山を再開しました。途中、体調不良で、下山をした参加者もいましたが、午前8時20分に20名の参加者が標高3776mの山頂に到達しました。山頂では、記念撮影や食事を楽しみその後、下山を開始し、午後1時30分にスタート地点の富士スバルライン五合目に到着しました。2日間で、登り下り合わせて13時間に及んだ登山は、肉体的にも精神的にもきつい場面もありましたが、一人ひとりが諦めずに挑戦し続ける心を持ち、お互いを励まし合う仲間との絆で登頂を成し遂げることができました。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>← 山頂での記念撮影</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>山小屋からのご来光 →</p>  </div> </div>		

令和7年度 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名( 南大隅町 )

事業名	親子ふれあいバレーボール大会	実施時期	令和7年7月30日(水) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子のふれあいやPTA会員の交流を深めるとともに、日頃の運動不足を解消し健康増進を図る。</li> <li>○ 様々な世代が楽しめる種目やルールの下でスポーツをおこない、みんなが楽しめる時間にする。</li> </ul>		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐多小児童12名、第一佐多中学校生徒10名</li> <li>○ 佐多小・第一佐多中PTA保護者20名</li> <li>○ 佐多小・第一佐多中教職員11名</li> </ul>		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常のバレーボールルールで行うリーグ(ハイキューリーグ)と、小学生や初心者向けのルールで行うリーグ(ちいかわリーグ)を設定し試合を行う。</li> <li>○ 大人、子ども、教職員をランダムに振り分けてチーム編成を行い、交流を図る。</li> <li>○ ちいかわリーグでは、バドミントンのネットを使用したり、ワンバウンドまでOkとしたりして、参加者全員が楽しめるようにする。</li> <li>○ 大会を18:00～19:30に設定し、なるべく多くの方々が参加できるようにする。</li> <li>○ ハイキューリーグ4チーム、ちいかわリーグ3チーム設定し、全チームが2試合程度行えるように試合を設定する。</li> </ul>		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; width: 45%;">  <p>【開会式の様子】</p> </div> <div style="text-align: center; width: 45%;">  <p>【ちいかわリーグの様子】</p> </div> <div style="text-align: center; width: 45%;">  <p>【ハイキューリーグの様子】</p> </div> <div style="text-align: center; width: 45%;">  <p>【会場全体の様子】</p> </div> </div>		